

開会中の委員会活動

営業戦略農林水産委員会 (長谷川重幸委員長)

【重点審査テーマ】国内外への魅力発信強化と持続可能な農林水産業の実現

県営畑地帯総合整備事業 坂東中央地区 (坂東市)

坂東中央地区は、平成24年度に県営畑地帯総合整備事業に着手し、令和5年度に事業が完了しました。

区画整理や畑地かんがい施設などの整備を契機とした経営拡大により、農業所得の増加や後継者の確保につながった事例について説明を受けました。



事業概要などについて説明を受ける委員

常総市役所 (常総市)

常総市では、圏央道常総インターチェンジ周辺の約45%に農地エリアと都市エリアを形成し、6次産業化を軸としたまちづくりと地域活性化を目指すアグリサイエンスバレー構想に取り組んでおり、構想の概要とこれまでの取り組みについて説明を受けました。



アグリサイエンスバレー構想について説明を受ける委員

総務企画委員会 (川口政弥委員長)

【重点審査テーマ】デジタル行財政改革の推進

高萩市役所 (高萩市)

高萩市では、AIを活用してバスの運行経路とダイヤを最適化して運行する「My Rideのるる」を導入しています。公共交通の課題と導入の経緯、利用促進の取り組みなどについて担当者から説明を受け、実際にアプリを用いてバスを呼び出し、乗車体験をしました。



「My Rideのるる」について説明を受ける委員

十石堀 (北茨城市)

十石堀では、常陸国ロングトレイル事業により令和5年度にハイキングコースが整備されました。実際に十石堀のハイキングコースを歩いて視察するとともに、登山アプリと連携したデジタルスタンプラリーの取り組みについて説明を受けました。



ハイキングコースを歩く委員

土木企業立地推進委員会 (黒部博英委員長)

【重点審査テーマ】災害・危機に強い県づくり

株式会社 AESC 茨城 (茨城町)

株式会社AESC茨城は、車載リチウムイオンバッテリーを製造し、自動車メーカーへ供給する企業です。国内最大級のリチウムイオンバッテリーの生産拠点として、茨城中央工業団地に令和5年8月に竣工、令和6年8月に量産開始した茨城工場内を視察しました。



同社の概要について説明を受ける委員

都市計画道路 中大野中河内線 (水戸市)

水戸市の市街地を東西に連絡する本路線において、現在工事が進められており、水戸市西門町の国道6号との交差点の整備や南側に近接する西門六差路の十字交差化により、渋滞の緩和などが期待されています。現地を視察し、事業概要について説明を受けました。



現地を視察する委員

防災環境産業委員会 (飯田智男委員長)

【重点審査テーマ】本県の産業を支える人材の育成・確保

関彰商事株式会社 (つくば市)

関彰商事株式会社は外国人材採用のため、ベトナムやインドなどで現地大学などと連携したジョブフェアを開催しています。ジョブフェアの開催状況や、採用した社員の就労状況について説明を受けたほか、外国籍社員の方との意見交換を行いました。



同社の取り組みについて説明を受ける委員

ナガエツルノゲイトウの繁茂状況について (稲敷市・河内町)

ナガエツルノゲイトウは生態系や農業などに悪影響を及ぼす恐れがあることから、特定外来生物に指定されています。新利根川上流の河内町、下流の稲敷市にて繁茂状況を視察し、稲敷市役所にて県・市・町などの対応状況などの説明を受けました。



ナガエツルノゲイトウの繁茂状況を視察する委員

文教警察委員会 (金子晃久委員長)

【重点審査テーマ】警察本部関係：巡回連絡を活用した高齢者総合安全対策の推進
教育庁関係：誰もが輝く学校環境づくりについて

茨城県警察本部 (水戸市)

茨城県警察本部は、交通管制センターなどの見学を通じて警察業務に係る理解の促進に取り組んでいます。警察活動の紹介映像や装備品、SNSに投稿している自転車盗難被害防止に向けた短編漫画などを展示している広報センターを視察しました。



広報センターを視察する委員

県立水戸高等特別支援学校 (水戸市)

県立水戸高等特別支援学校は、平成11年に設立された軽度知的障害を有する生徒のための学校です。社会的・職業的自立を目指し、一人一人の適性に応じた可能性を最大限に伸ばす教育の取り組みなどを視察しました。



授業を視察する委員

保健福祉医療委員会 (水柿一俊委員長)

【重点審査テーマ】県民の命を守るための医療と介護の充実

スポーツ&カルチャーしおかぜみなと (ひたちなか市)

「スポーツ&カルチャーしおかぜみなと」は、誰でも気軽に地域の方々が生涯にわたってスポーツ・文化活動を楽しみ、健康でいきいきと交流できる連帯感あふれる地域づくりを目指す多世代交流



施設の状況などについて説明を受ける委員

施設で、地域における健康寿命の延伸に貢献しています。施設の担当者から、施設の利用状況や今後の展望について説明を受けるとともに、施設内での活動の様子を視察しました。



施設内での活動を体験する委員